

福岡県

歴史巡り
マップ

1p …… はじめに
2p …… 本書の読み方

■国宝

3p～4p… ①九州国立博物館
5p …… ②福岡市博物館
6p …… ③観世音寺 宝蔵、④太宰府天満宮 宝物殿
宮地嶽神社、⑤宗像大社神宝館
7p …… ⑥伊都国歴史博物館、⑦西光寺、⑧立花家史料館

■特別史跡・特別天然記念物

8p …… ⑨大野城跡、⑩大宰府跡、⑪水城跡
9p …… ⑫特別史跡 王塚古墳、⑬特別史跡 基肄(椽)城跡
⑭特別天然記念物 古処山ツゲ原始林
⑮特別天然記念物 立花山クスノギ原始林

■福岡エリアのお宝

10p …… ⑯秋月郷土館、⑰大野城市歴史資料展示室
⑱小石原焼伝統産業会館
11p …… ⑲太宰府市文化ふれあい館、⑳筑前町立大刀洗平和記念館
㉑福岡市埋蔵文化財センター
12p …… ㉒糸島市立志摩歴史資料館、㉓宇美町立歴史民俗資料館
㉔春日市奴国の丘歴史資料館、㉕粕屋町立歴史資料館
13p …… ㉖篠栗町歴史民俗資料室、㉗志免町歴史資料室
㉘新宮町立歴史資料館、㉙須恵町立歴史民俗資料館

■北九州エリアのお宝

14p …… ㉚北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)
㉛豊前市立埋蔵文化財センター、㉜みやこ町歴史民俗博物館
15p …… ㉝芦屋歴史民俗資料館
㉞遠賀町民俗資料館(ふれあいの里内)
㉟刈田町歴史資料館、㊱上毛町歴史民俗資料館
16p …… ㊲中間市歴史民俗資料館、㊳船迫窯跡公園体験学習館
㊴水巻町歴史資料館、㊵行橋市歴史資料館

■筑後エリアのお宝

17p …… ㊶有馬記念館、㊷岩戸山歴史資料館
㊸うきは市立吉井歴史民俗資料館
18p …… ㊹大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
㊺小郡市埋蔵文化財調査センター(古代体験館おごおり)
㊻旧吉原家住宅・資料館
19p …… ㊼筑後市郷土資料館、㊽広川町古墳公園資料館
㊾柳川市立歴史民俗資料館

■筑豊エリアのお宝

20p …… ㊿飯塚市歴史資料館、㊽糸田町歴史資料館
㊾王塚装飾古墳館
21p …… ㊿嘉麻市碓井郷土館、㊽香春町歴史資料館
㊾鞍手町歴史民俗博物館
22p …… ㊿田川市石炭・歴史博物館、㊽英彦山修験道館
㊾宮若市石炭記念館

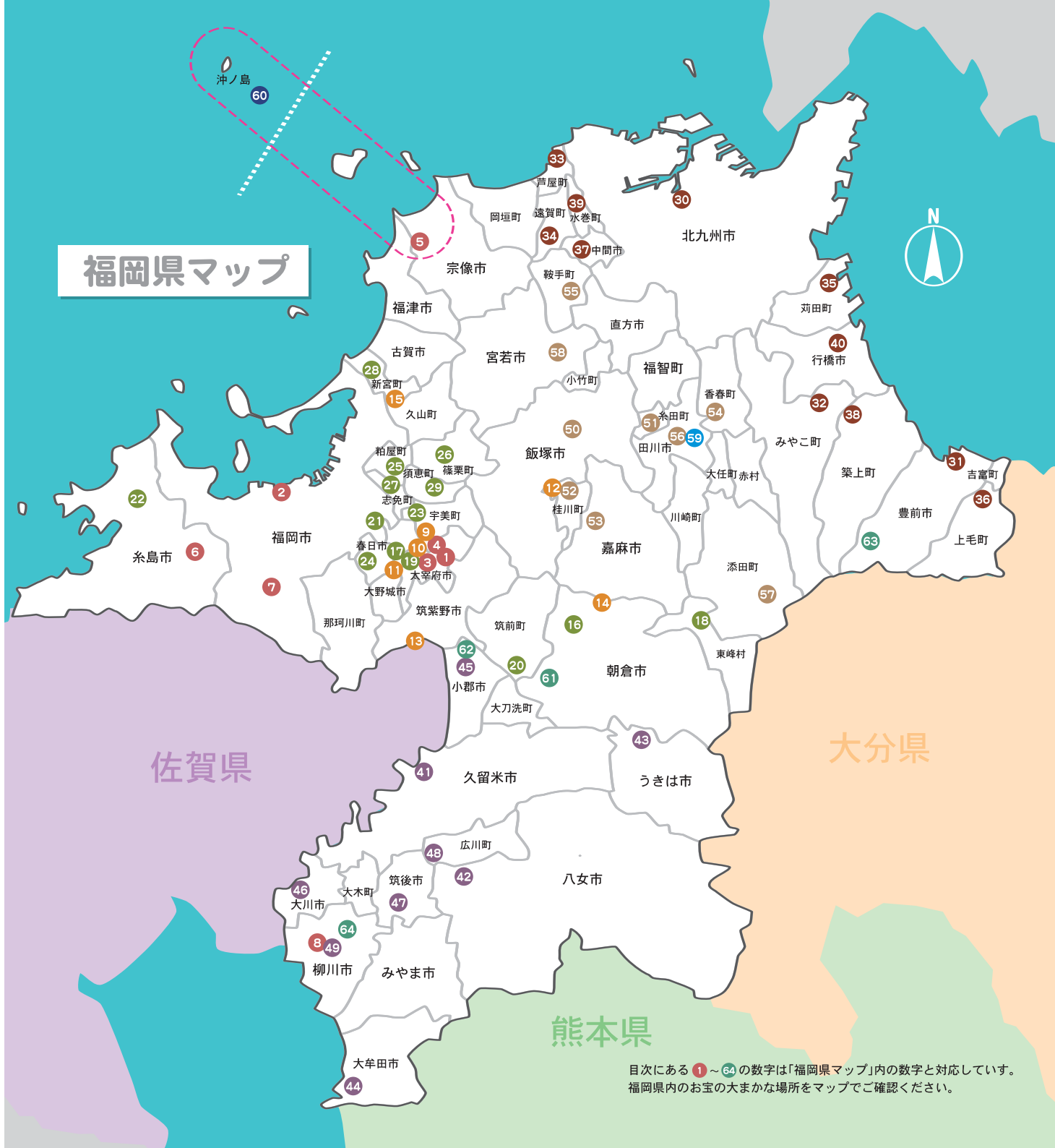
■世界遺産

23p …… ㊿山本作兵衛コレクション ユネスコ世界記憶遺産
㊿宗像・沖ノ島と関連遺産群 ユネスコ世界遺産暫定
九州・山口の近代化産業遺産群 ユネスコ世界遺産暫定

■県立資料館のお宝

24p …… ㊿甘木歴史資料館、㊿九州歴史資料館
㊿求菩提資料館、㊿柳川古文書館

福岡県マップ



目次にある①～㉔の数字は「福岡県マップ」内の数字と対応しています。
福岡県内のお宝の大まかな場所をマップでご確認ください。

はじめに

海と山に囲まれ、古代より独自の発展を遂げてきた福岡県。

私たちが住むこの県には、実にさまざまな宝物が眠っています。西暦57年に中国の光武帝から贈られた「金印」や2011年に日本で初めてユネスコ世界記憶遺産に選ばれた「山本作兵衛の作品」等、その名を世界に広く知られた宝物もあれば、市や町で長い期間をかけて守り、連綿と受け継がれてきたその土地ならではの宝物もあります。一つひとつの宝物には歴史があり、そして物語があるのです。

そんな福岡県の宝物を、一冊に集めてみました。地域別にまとめているのでそれぞれの土地へ「宝物行脚」に出かけてみても面白いかもしれません。もちろん読むだけでも、さまざまな時代の知恵が垣間見られて面白いですよ。

さあ、先人たちが育んできたタカラモノを探す旅に、出かけてみましょう。

各エリアの宝物として掲載しているものは、県内の各市町村にある歴史資料館や博物館等が推薦する「一番おすすめのお宝」です。ただし、掲載されている展示品については期間限定公開や非公開のものもありますので、必ずお出かけ前にお問い合わせください。

本書の読み方

■【時】【休】…展示品を所蔵している施設の開館時間と休館日です。季節や行事により変わることがあります。

■【料】…通常時の入館料金。特別展についてはこの限りではありません。団体割引、障害者割引、シルバー割引等、各種割引についてはお問い合わせください。

■【駐】…施設に併設されている駐車場がある場合は、その台数を書いています。

■【交】…最寄の公共機関の紹介です。

■【所】…住所です。

■【問】…お問い合わせ先の電話番号です。

*「大宰府・太宰府」の表記分けについて
歴史上の役所は「大宰府」、行政上の地名等については「太宰府」と表記しています。

*お宝情報の Map-00 は差し込みの「福岡県マップ」の番号と対応しています。

国宝とは？

国指定の有形文化財のうち、特に世界文化の見地から高い価値が見出されるものとして、国が指定した建造物・彫刻・絵画・工芸品・典籍・古文書・考古資料・歴史資料を指します。

特別史跡とは？

国が文化財保護法に基づいて指定した史跡のうち、特に価値の高さが認められたもの、国宝と同格で扱われます。

特別天然記念物とは？

国が文化財保護法に基づいて指定した天然記念物のうち、世界的、国家的に特に価値が高いと指定されたものです。

世界記憶遺産と世界遺産暫定リストについて

ユネスコにより選ばれた「人類が共有すべき顕著で普遍的な価値のある文化遺産や自然遺産」を世界遺産と認定しています。ユネスコが主催する三大遺産事業がこの「世界遺産」と「無形文化遺産」、そして「世界記憶遺産」。「世界記憶遺産」は多様な人類の文化的営みを映した資料で、歴史的、社会的な価値があり元のままで保存されていることが登録の基準。日本では2011年に初めて、福岡県筑豊地方の山本作兵衛の原画や日記が登録されました。

また、「世界遺産暫定」というのは、今後10年以内を目処に登録申請を目指すもののこと。ユネスコは基本的には各国から提出された暫定リストのなかから登録認定を選びます。そのため各国は、「顕著で普遍的な価値」を持つものかどうかを厳格に吟味して、暫定リストに加えるものを決議します。国内の暫定リストには2012年2月現在、12件の候補があります。

しほんぼくがたんさいしゅうもしゆくあいれんず
「紙本墨画淡彩周茂叔愛蓮図」 狩野正信筆



九州国立博物館所蔵

銀閣寺造営で知られる第8代将軍、足利義政の御用絵師で、狩野派の初代である狩野正信(1434～1530)が描いた、室町時代の水墨画を代表する作品。中国・北宋の儒学者で宋学の開祖である周茂叔(1017～1073)が船上から君子の花である蓮を愛でる様子が描かれており、正信の代表的作品。



国玉神社所蔵／写真提供九州国立博物館

どうばんほけきょう どうばこ
「銅板法華経・銅宮」

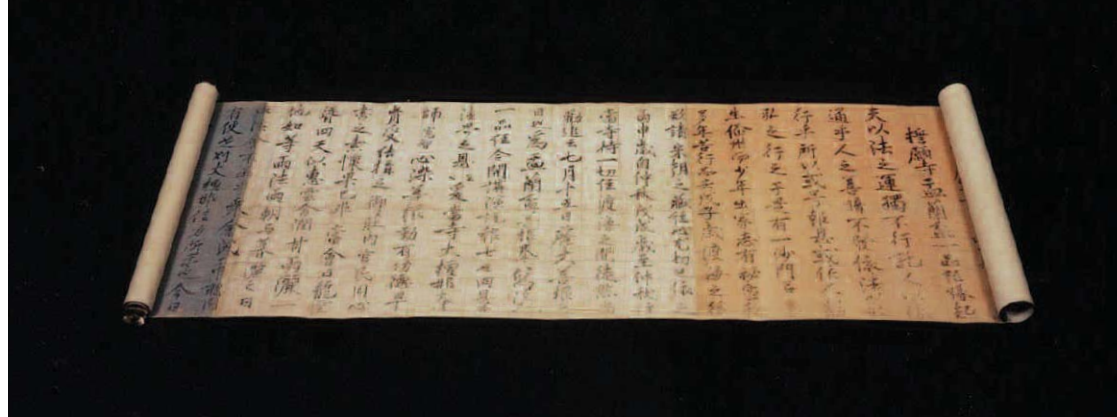
平安時代に流行した末法思想により、求菩提山の僧侶が法華経と般若心経を33枚の銅板に鑿(たがね)で刻み、銅製の箱(写真)に入れて、平安時代後期康治元年(1142)に求菩提山の岩窟に納めた。それがおよそ400年後の戦国時代に修行していた僧への夢のお告げにより発見され、現在までそのすべてが伝えられている。四角い銅宮には釈迦・多宝の二仏や阿弥陀三尊などが線彫りされ、銅板それぞれの表裏には、法華経と般若心経が2段30行にわたって刻まれており、極めて珍しいものである。



九州国立博物館所蔵

たち めいらいくにみつ
太刀 「銘来国光」

備前長船や相州正宗と並んで有名な鎌倉時代(14世紀)の刀鍛冶、山城国(京都)の来国光の代表作。来国光は、この太刀を含めて国宝2点、重要文化財22点もの指定を受けている名工で、本太刀は目の細かい地がねに直線的な白い刃文が特徴的である。徳川家康の養子で姫路城主であった松平忠明が大阪の陣で用い、その後三菱岩崎家、山縣有朋、明治天皇などの所有を経てきた。



誓願寺所蔵／写真提供九州歴史資料館

せいがんじうらぼんえんぎ
「誓願寺孟蘭盆縁起」

誓願寺孟蘭盆縁起は、日本臨済宗の開祖である明庵栄西(1141～1215)筆の書である。治承2(1178)年、福岡市西区今津の誓願寺で行われた祖先供養行事である孟蘭盆の由来や趣旨を、宋から伝わった美しい文様の唐紙に綴ったものである。



宮地嶽神社所蔵／写真提供九州国立博物館

みやじだけこぶんしゅつどひん
宮地嶽古墳出土品
こんどうつばあぶみ
金銅壺鐙ほか

石室の大きさでは国内第2位の規模を持つ福津市の宮地嶽古墳から発見された7世紀の豪華な副葬品である。唐草文で飾る金銅製壺鐙や様々な馬具、金銅製冠や台付の銅碗、緑色のガラス板や丸玉など、この時代の朝鮮半島との交流を物語る多様な遺品で、一括して国宝に指定されている。



九州国立博物館所蔵

えいがものがたり
栄花物語

『栄花物語』は、11世紀に書かれたわが国最初の歴史物語で、作者は女性と考えられている。平安時代初期の宇多天皇から後期の堀河天皇までの15代、約200年間の宮廷の歴史を仮名文・編年体で綴っているが、中でも太政大臣・藤原道長の栄耀栄華を描いた部分が有名。本書は、現存最古の写本として国宝に指定されている。

【時】9:30～17:00(入館は16:30まで) 【休】月曜日・年末(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)
【料】文化交流展／大人420円、大学生130円※高校生以下・18歳未満及び満70歳以上の方は無料(生徒手帳、健康保険証、運転免許証などを要提示)※特別展は別料金
【駐】乗用車313台、バス9台(バイク250円、乗用車500円、マイクロバス1,300円、大型バス2,000円)
【交】西鉄太宰府駅より徒歩10分 【所】太宰府市石坂4-7-2 【問】☎050-5542-8600(ハローダイヤル)

こくほうきんいん かののわのなのこくおう
国宝金印「漢委奴国王」



天明4(1784)年、博多湾に浮かぶ志賀島で発見され、筑前藩主であった黒田家に伝わり、昭和53(1978)年に福岡市に寄贈された。
つまみは蛇をかたどっており、「魚子(ななこ)」が表面を飾る。印面の一辺の長さは漢代の一寸に相当し、中国の史書『後漢書』にある建武中元2(57)年、光武帝が北部九州の首長に与えた「印綬」にあたる。当時の印章は粘土に押しあてて書簡や荷の封印として使用した。

たち めいぶつ
太刀 名物
にっこういちもんじ
「日光一文字」



無銘であるが、華やかな刃文などから鎌倉時代の備前国(現岡山県)一文字派の作といわれる。日光権現に納められていたのを、戦国武将の北条早雲がもらい受けたとされ、「日光一文字」と呼ばれ北条氏の家宝にされた名刀。
天正18(1590)年の豊臣秀吉の小田原攻めの際に、北条氏降伏の労を取った黒田如水に、北条氏直からお礼として贈られたといわれる。
以後、黒田氏の家宝として伝来した。

写真は全て福岡市博物館所蔵

【時】9:30~17:30(入館は17:00まで)、7・8月は日・休日をのぞき19:30まで(入館は19:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】常設展示室／大人200円、高大生150円、中学生以下無料※特別展は別料金
【駐】250台(うち身体障害者専用4台分) 【交】地下鉄西新駅1番出口より徒歩約15分 ほか
【所】福岡市早良区百道浜3-1-1 【問】☎092-845-5011

かんぜおんじ ほうぞう
観世音寺 宝蔵



観世音寺所蔵／写真提供太宰府市教育委員会

ぼんしょう
「梵鐘」

今も音色を聞くことができる日本最古の梵鐘が、鐘楼に掲げられている。宝蔵には、観世音寺が所蔵する文化財を収蔵。中でも平安後期から鎌倉期の十一面観音立像、馬頭観音立像、不空罽索観音立像、阿弥陀如来座像ならびに四天王立像は、全国的にみても貴重な文化財。

【時】9:00~17:00 【休】なし
【料】大人500円、高大生300円、小中学生150円
※梵鐘は屋外にあるため見学自由。上記料金は観世音寺宝蔵のもの
【駐】観世音寺駐車場(30台)
【交】西鉄五条駅より徒歩15分
【所】太宰府市観世音寺5-6-1
【問】☎092-922-1811

Map-3

みやじだけじんじゃ
宮地嶽神社



宮地嶽神社所蔵

るりこつつほ
「瑠璃骨壺」

この骨壺は鉛ガラス製で、白色の風化層で覆われているが、風化層が剥落しているところはきれいな濃緑色を呈する。中には火葬骨が納められていた。昭和13年に、宮地嶽神社の境内にある、豪華な副葬品を出土したことで著名な宮地嶽古墳の近くの尾根から、銅製壺に納められて出土したと伝えられている。

東京国立博物館
※2012年現在の寄託先で常設展示にて見学可能
【所】東京都台東区上野公園13-9
【問】☎03-5777-8600(ハローダイヤル)

だざいふてんまんぐう ほうもつてん
太宰府天満宮 宝物殿



太宰府天満宮所蔵

かんえんまきだいさんじゅう
「翰苑巻第卅」

国宝「翰苑」は、中国の唐代、張楚金が編じたいわゆる百科事典に属するものである。平安初期に我が国に伝来し、この巻のみが現存する。古代日本について記された貴重な史料である。他に、菅公遺品をはじめ、天神信仰の歴史を伝える文化財が展示されている。

【時】9:00~16:30(入館は16:00まで)
【休】月曜日
【料】大人300円、高大生200円、小中学生100円
【駐】太宰府天満宮駐車場(1,500台/有料500円)
【交】西鉄太宰府駅より徒歩5分
【所】太宰府市宰府4-7-1 【問】☎092-922-8225

Map-4

むなかたたいしやしんぼうかん
宗像大社神宝館



おきのしまさいしいせきしゅつどひん
「沖ノ島祭祀遺跡出土品」

宗像三女神への信仰や三女神を奉斎した宗像一族の歴史を物語る貴重な神宝を展示。特に、宗像大社の神体島・沖ノ島で行われた大和政権が関与する盛大な祭祀への奉納品(国宝)は必見。写真は朝鮮新羅の時代(1400年前)に作られ渡来した純金製の指輪。前面に花模様をあしらひ、気品にあふれている。

【時】9:00~16:30 【休】なし
【料】大人500円、高大生300円、小中学生200円
【駐】宗像大社駐車場(1000台)
【交】JR東郷駅下車、西鉄バス宗像大社經由神湊波止場行き「宗像大社前」下車
【所】宗像市田島2331 【問】☎0940-62-1311

Map-5



国(文化庁)所蔵

ふくおかけんひらばるほうけいしゅうこうぼしゅつどひん
「福岡県平原方形周溝墓出土品」

日本最大の内行花文鏡を含む40枚の銅鏡や豪華な装身具などで知られる国宝平原方形周溝墓出土品を中心に、弥生時代の王国「伊都国」からの出土品を展示。あわせて、旧石器時代から江戸時代までの糸島の歴史や、昭和の糸島の暮らしを紹介するコーナーもある。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
【料】大人210円、高校生100円、小中学生、65歳以上無料、特別展期間中は料金が変更
【交】JR周船寺駅より昭和バス「高祖」下車徒歩約10分(本数が少ないため事前に要確認)
【駐】50台 【所】糸島市井原916 【問】☎092-322-7083



写真提供太宰府市教育委員会

大野城跡は、天智天皇2(663)年の白村江の戦いに敗れた大和政権が、大宰府防衛のために築いた古代の朝鮮式山城。大宰府北方の四王寺山(大野山)山頂に総延長8.6kmに亘る土塁と石塁をめぐらせ、その内側には建物や井戸等を設けた。現在の宇美町、大野城市、太宰府市にまたがって所在している。

【駐】福岡県立四王寺県民の森センター駐車場(100台)
【交】西鉄太宰府駅より徒歩50分 ほか
【所】宇美町、大野城市、太宰府市
【問】宇美町教育委員会 社会教育課 ☎092-933-2600
大野城市教育委員会 ふるさと文化財課 ☎092-580-1916
太宰府市教育委員会 文化財課 ☎092-921-2121



写真提供福岡市教育委員会

ぼんしょう じょうわろくねんほうきのくにきんせきじしょう
「梵鐘(承和六年伯耆國金石寺鐘)」

内野の浄土真宗西光寺が所蔵する梵鐘の表面には、製作の年代や経緯が鋳出されている。国内に現存する梵鐘の中では五番目に古い年代の記された、大変貴重な文化財である。銘文から、この梵鐘が承和6(839)年に鴨部氏により伯耆国(現在の鳥取県)金石寺の鐘として鋳造されたことが判る。但し早くに金石寺の所有を離れたと思われ、江戸時代には出雲大社等を経て、明治30(1897)年に西光寺が購入した。幸いなことにその重要性から、戦時中の金属供出も免れた。

【交】西鉄バス「内野」下車徒歩10分 【所】福岡市早良区内野2-7-13
*見学の際はお寺にご迷惑がからないようご配慮ください



写真提供太宰府市教育委員会

古代律令制下にあつて外交を握り、西海道(九州)諸国(九国二島)も統括した大宰府の中樞。東西111.6m、南北211mの政庁では重要政事儀式が執り行われていた。現在、見ることができる正殿の礎石建物は、平安時代中期に再建された建物だ。

【駐】政庁跡多目的広場(30台)
【交】西鉄都府楼前駅より徒歩10分
【所】太宰府市坂本3丁目、観世音寺4丁目ほか
【問】太宰府市教育委員会 文化財課 ☎092-921-2121



たんどう めい よしみつ
「短刀 銘 吉光」

建武3(1336)年立花家の先祖が京都で武勲をたてた際の褒賞として足利尊氏から拝領したという伝承を伴い、立花家代々の什宝として特に大切にされてきた。吉光は山城国(京都)の刀工で、通称を藤四郎といい、短刀の名手として知られている。本作は其中でも特に身幅が広く、先がかすかに内側に反った包丁に似た姿をしている。700年以上を経た今なお健体で、全体の姿、刃文、地肌すべてが格調高く力強い名刀だ。

【時】9:00～18:00 【休】なし
【料】大人500円、高校生300円、小中学生200円(西洋館・松濤園共通)
【駐】柳川パーキング(500円/1日) 【交】西鉄バス「御花前」下車徒歩2分
【所】柳川市新外町1-1 【問】☎0944-73-2189



写真提供太宰府市教育委員会

福岡平野のもっとも狭い部分に築かれた古代の防衛施設で、「日本書紀」天智天皇3年に築造記録がある。土塁と濠で敵を防ぐ仕組みで、土塁は長さ1.2km、最大幅80m、地面からの高さが10mで、前面(博多側)に幅60m、深さ4mの濠があった。現在の大野城市、太宰府市にまたがって所在している。

【駐】水城跡 東門多目的広場(30台)
【交】JR水城駅より徒歩3分 ほか
【所】大野城市、太宰府市
【問】大野城市教育委員会 ふるさと文化財課 ☎092-580-1916
太宰府市教育委員会 文化財課 ☎092-921-2121

とくべつしせき おうづかふん
特別史跡 王塚古墳



6世紀に造られた前方後円墳で復元全長は約86m、遠賀川流域では最大級の大きさの装飾古墳。石室に5色(黄・白・赤・緑・黒)で描かれた文様が特徴で、三角文・同心円文・双脚輪状文・わらび手文・珠文などの抽象文様や、騎馬像・盾・弓・鞍・大刀などが入口から奥に至るまで隙間なく描かれている。出土品は、一括して重要文化財に指定されている。

【駐】バス6台、障害者用2台、普通車50台
【交】JR桂川駅より徒歩10分
【所】嘉穂郡桂川町大字寿命311番地外
【問】王塚装飾古墳館 ☎0948-65-2900

Map-12

とくべつてんねんきねんぶつ こしよさん げんしりん
特別天然記念物 古処山ツゲ原始林



昔からクシ材として有名で、その他ソロバン玉・将棋の駒などに利用されてきた。古処山ではオオヒメツゲが大半を占め、その他にアサマツゲ・マルバツゲの三種が自生する。しかも、林全体に占める割合が8～10割と純度が高く、全国的に見ても最高のツゲ林といわれている。指定範囲は約12ヘクタールで古木は樹齢千年を超えるものもある。

* 古処山登山道は通行危険箇所があるため、登山の際は要注意

【駐】旧秋月キャンプ場駐車場30台程度 ほか
【交】甘木鉄道甘木駅より甘木観光バス秋月行きバス乗車、7～9月「古処山口」下車、徒歩約2時間
【所】朝倉市、嘉麻市(古処山山頂付近)
【問】朝倉市教育委員会文化課 ☎0946-22-0001
嘉麻市生涯学習課文化財係 ☎0948-57-3176

Map-14

とくべつしせき き い き じょうあと
特別史跡 基肆(塚)城跡



基肆城跡は、筑紫野市と佐賀県基山町にまたがる基山(標高約404.5m)の山頂に位置する古代の山城跡。基肆城跡の築城は、『日本書紀』によれば白村江の戦いに敗れたことを契機に天智4(665)年、百済の高官「憶礼福留」「四比福夫」の二人を遣わして築城させたと記されている。遺跡は、総延長4.3kmの土塁と4ヶ所の城門、および礎石建物群などが発見されている。

【駐】基山草スキー場駐車場(佐賀県基山町)約20台
【交】JR基山駅(佐賀県基山町)より基山山頂まで徒歩1時間30分
【所】筑紫野市大字山口 ほか
【問】筑紫野市教育委員会 文化振興課 ☎092-921-8419

Map-13

とくべつてんねんきねんぶつ たちばなやま げんしりん
特別天然記念物 立花山クスノキ原始林



立花山の北東面山麓に広がる樹齢300年を超えるクスノキの巨木群。一山全域にわたってクスノキが占有している自然林は、国内で他に例を見ないと言われ、学術的にも文化的にも非常に貴重な財産である。

【駐】立花山ふもと周辺に3か所、計80台程度
【交】JR福工大前駅より車で15分、徒歩30分
【所】糟屋郡新宮町、糟屋郡久山町大字山田字大谷
【問】新宮町立歴史資料館 ☎092-962-5511
久山町教育委員会 ☎092-976-1111

Map-15

あきづききょうどかん

秋月郷土館

しまばらじんずびょうぶ

「島原陣図屏風」(出陣図、戦闘図)



寛永14年に起きた島原の乱の様子を描いた屏風で、歴史の教科書にも採用されている逸品。出陣図は秋月城から出陣する藩主黒田長興以下2,000名の軍勢を、戦闘図は原城総攻撃時の秋月藩勢の活躍を描いたものだ。屏風が完成したのは天保8年、乱後200年に合わせて8年の歳月をかけて藩内の記録を基に制作された。館内には、この時藩主長興が着用した甲冑も展示されている。

【時】9:00～17:00 【休】年末年始
【料】大人500円、高校生300円、小中学生200円 【駐】秋月駐車場(有料)
【交】甘木鉄道甘木駅より甘木観光バス秋月行、「郷土館前」下車徒歩約2分
【所】朝倉市秋月野鳥532-2 【問】☎0946-25-0405

おおのじょうしれきしりょうてんじしつ
大野城市歴史資料展示室

かふ

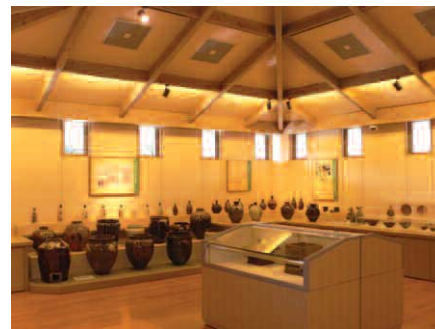
「貨布」大野城市指定有形文化財

貨布は中国「新」の時代(西暦8～23年)に発行された青銅製貨幣で、長さ約5.8cm、最大幅2.3cmのもの。古代の農耕具のひとつである鋤の形を表したもので、片面に篆書体で「貨」(右)と「布」(左)の文字を鋳出しているために貨布と呼ばれている。仲島遺跡から出土したものだが、発掘調査での出土は大野城市の一例のみ。

【時】9:30～17:00
【休】土日(第4土曜とその翌日の日曜は開室)、祝日、年末年始
【料】無料 【駐】80台 【交】西鉄春日原駅より徒歩10分
【所】大野城市曙町2-2-1(大野城市役所新館3F)
【問】☎092-580-1918

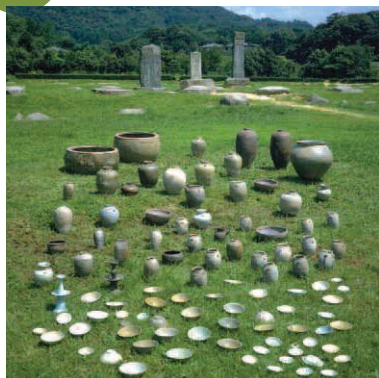
こいしわらやきでんとうさんぎょうかいかん
小石原焼伝統産業会館

陶磁器では日本で最初に指定された伝統工芸品



江戸時代初期から四百年の歴史を持ち、日本で陶磁器では最初に伝統的工芸品に指定された小石原焼。ここでは先人たちの古作から、現代の約50軒の窯元の新作や代表作に至るこれまでの創作活動の精華を一覧することができる。さらに初心者から上級者まで気軽に体験できる陶芸工房もある。

【時】9:00～17:00 【休】火曜日(祝日の場合は翌日)
【料】大人210円、高大生158円、小中学生105円
【駐】140台 【交】西鉄バス「小石原片舎前」下車徒歩10分
【所】朝倉郡東峰村大字小石原730-9
【問】☎0946-74-2266



写真提供太宰府市教育委員会

「歴史の散歩道」の中核施設

市域で出土した埋蔵文化財資料をはじめ、市史編纂の際収集した資料や、太宰府の民俗に関する資料を所蔵している。館の屋根は、近くにある史跡筑前国分寺跡から出土した軒瓦から版をとり復元した本瓦葺で、館の庭には筑前国分寺跡にあったとされる七重塔の1/10の模型を展示している。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】30台程度
【交】西鉄都府楼前駅より徒歩15分
【所】太宰府市国分4丁目9-1 【問】☎092-928-0800

「陸軍九七式戦闘機」



戦前、東洋一と謳われた大刀洗飛行場の歴史を紹介する大刀洗平和記念館。同館に展示されている陸軍九七式戦闘機は、戦時中に博多湾に不時着、海に沈んだが51年後の平成8年に引き上げられ修復されたもの。当時のパイロット・渡邊利廣少尉は不時着の8日後に、知覧から特攻出撃し戦死されている。大刀洗飛行場の主力機でもあった同機は、当時の様子を物語る貴重な戦時資料である。

【時】9:00～17:00 【休】年末年始
【料】大人500円、高校生400円、小中学生300円、小学生未満無料
【駐】90台 【交】甘木鉄道大刀洗駅下車すぐ
【所】朝倉郡筑前町高田2561-1 【問】☎0946-23-1227



考古学情報の発進基地

博多遺跡群の発掘調査で発見され、埋納された陶磁器群。陶磁器136点、金属製品6点が地面に埋められていた。16世紀半ば頃の戦国時代に戦火を避けるために埋められたものと思われる。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日、年末年始
【料】無料 【駐】30台程度
【交】西鉄雑餉隈駅より徒歩15分
【所】福岡市博多区井相田2-1-94
【問】☎092-571-2921



「新町支石墓群出土土器」 県指定有形文化財

弥生時代初期の支石墓から出土した甕棺群と小壺で、大変貴重なもの。いくつかは真赤や真黒に塗られ、美しく磨き上げられている。また、近くの遺跡で出土した古代中国の貨幣である「貨泉」と「半両銭」も貴重なものだ。

【時】10:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人210円、高校生100円、中学生以下と65歳以上無料
【駐】5台
【交】JR筑前前原駅より昭和バス船越線「初」下車徒歩5分
【所】糸島市志摩初1番地
【問】☎092-327-4422

Map-22



「銅鏃鋳型」

春日市の須玖岡本遺跡は奴国の中心地であると考えられており、坂本地区からは青銅器やガラス製品を生産していた工房跡が集中して発見された。この遺跡から出土した連鑄式銅鏃鋳型は石材に鏃(やじり)の型が彫り込まれ、49本の鏃を一度に鑄造することができる。この他にも鑄造関連の遺物が多数出土しており、弥生時代の最先端技術が結集していたことを伺うことができる。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】第3火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料(特別展では有料の場合あり)
【駐】22台 【交】JR南福岡駅より徒歩15分
【所】春日市岡本3-57 【問】☎092-501-1144

Map-24



「蜻蛉形鞘金具」

町内の発掘調査で出土した資料を展示する考古展示室には、近年、魏志倭人伝に登場する「不弥国」の王墓とも推測される国史跡光正寺古墳の出土遺物を展示している。また宝物として、国内で唯一の発見事例である古墳時代後期の青銅製装飾品「蜻蛉形鞘金具」がある。

【時】8:30～17:00(入館は16:45まで)
【休】月曜日(祝日及び宇美八幡宮祭礼の場合、翌平日)、年末年始
【料】無料 【駐】宇美八幡宮と共有
【交】JR宇美駅より徒歩8分
【所】糟屋郡宇美町宇美1-1-22
【問】☎092-932-0011

Map-23



「幻の郡「加麻又郡」の謎」

江辻(えつじ)遺跡から出土した「加麻又郡」と刻まれた奈良時代の土器。その郡名は、古代史上に存在が知られていない幻の郡であった。発見後10年を経て也未だ解明されていない謎の郡名。

【時】10:00～17:00
【休】月曜日、祝日の翌日、月末の木曜日、年末年始
【料】無料 【駐】149台
【交】JR長者原駅より徒歩2分
【所】糟屋郡粕屋町若宮1-1-1
【問】☎092-939-2984

Map-25

ささぐりまちれきしみんぞくしりょうしつ
篠栗町歴史民俗資料室



わかすむかいのやまきょうづかしゅつどひんいっしき
「若杉向ノ山経塚出土品一式」
篠栗町指定有形文化財

篠栗町若杉地区の向ノ山で採石中に発見された青銅製の経筒、素焼の陶製外筒、5枚の中国製白磁皿、2本の鉄製の短刀の一式。経筒は二段積上式のもので、他に類例のない特殊な形をしている。外筒には保安元年と推測される年号が刻まれており、これらは平安時代後期の末法思想の広まりにより造られた経塚に納められたもので、古くからの信仰の地である若杉山との関わりも想像できる。

【時】9:00～16:00
【休】平日にかかる祝日、お盆、年末年始
【料】無料 【駐】18台
【交】JR 篠栗駅より徒歩7分
【所】糟屋郡篠栗町大字篠栗4754
【問】☎092-947-1790

Map-26

しんぐうちょうりつれきしみんぞくしりょうかん
新宮町立歴史資料館



つつじょうせいどうせいひん
「筒状青銅製品」

弥生時代後期のもので、全国でも数点しか見つからない大変貴重な資料。類例が少ないため残念ながらどのように使われたかははっきりしていない。この製品を造るための鋳型が春日市から見つかっており、弥生時代の交流を示す貴重な資料となっている。

【時】9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日、年末年始 【料】無料 【駐】123台
【交】JR新宮中央駅より徒歩15分
【所】糟屋郡新宮町大字下府425-1
【問】☎092-962-5511

Map-28

しめまちれきしみんぞくしりょうしつ
志免町歴史資料室



くにしていしせき たなばたいけこふん しゅつどひん
「国指定史跡 七ヶ池古墳の出土品」

古墳時代前期につくられた糟屋地区最大の円墳から出土したもの。内行花文鏡や大刀、3000を超える玉、琴柱形石製品など、貴重な遺物が資料室に展示されている。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】50台
【交】西鉄バス「志免町役場前」下車徒歩1分
【所】糟屋郡志免町志免中央1-2-1
【問】☎092-935-7142

Map-27

すえちょうりつれきしみんぞくしりょうかん
須恵町立歴史民俗資料館



がんもくりょうじちよう
「眼目療治帳」県指定有形民俗文化財

江戸時代、日本四大眼科の一つに数えられた藩医田原家に伝わる資料。「眼目療治帳」は、江戸時代の治療記録で、現在のカルテに相当する。患者の出身地や治療内容が記されており、全国各地から田原眼科に治療に訪れていたことがわかった。

【時】10:00～17:00 【休】月・火・水曜日、年末年始
【料】無料 【駐】100台
【交】西鉄バス「老人ホーム前」下車徒歩15分
【所】糟屋郡須恵町大字上須恵21-3
【問】☎092-932-6312

Map-29

きたきゅうしゅうしりつ はくぶつかん しぜんし れきしはくぶつかん
北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

Map-30



ほりきりたついち らんる
「堀切辰一コレクション“檻褌”」

こちらは、江戸後期から戦後にかけて庶民が使用した布を中心とした古布コレクション。庶民時代裂研究会会長の堀切辰一氏が長い年月をかけて集めたもので、使い古された布からは当時の暮らしや庶民の心情が伝わってくる。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】年末年始、6月下旬～7月上旬の1週間
【料】大人500円、高大生300円、小中学生200円、未就学児無料
【駐】普通300台、大型30台
【交】JRスペースワールド駅より徒歩約5分
【所】北九州市八幡東区東田2-4-1 【問】☎093-681-1011

ぶぜんしりつまいぞうぶんかざい
豊前市立埋蔵文化財センター

Map-31

こもちまがたま
「子持勾玉」



豊前市内の荒堀中ノ原遺跡で出土した、古墳時代の子持勾玉(大きめの勾玉に小さな勾玉を付けたもの)。石鍋の材料もなる滑石というスベスベの石を半円形に加工して直線部の3か所に切り込みを入れるだけで、小型の勾玉を表現している。シンプルでまるで「ゾウさん」のような愛嬌のある形だ。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】見学無料(講座室の使用については有料)
【駐】他施設と併用 【交】JR宇島駅より徒歩15分
【所】豊前市大字八屋1776-2 【問】☎0979-82-5287

まちれきしみんぞくはくぶつかん
みやこ町歴史民俗博物館

Map-32

おがさわらぶんこ
「小笠原文庫」県指定有形文化財



小笠原文庫は旧小倉小笠原藩主・小笠原家旧蔵の古文書を中心とした約7000点の史料群。元禄時代に作成された「豊前国絵図」や香春藩印・豊津藩印(写真)など、豊前地方の近世・近代史を語るうえで貴重な史料が数多く含まれている。

【時】9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人200円、高校生以下100円 【駐】30台
【交】平成筑豊鉄道新豊津駅より徒歩20分
【所】京都郡みやこ町豊津1122-13
【問】☎0930-33-4666

あしやれきしみんぞくしりょうかん
芦屋歴史民俗資料館

装身具をつけた女性縄文人骨

芦屋町にある山鹿貝塚では装身具を身につけた縄文人骨が多数見つかった。特に2・3・4号人骨は耳飾り、垂飾り、貝輪、大珠をつけた状態で発掘されており、全国的に見ても貴重な資料。資料館にはこの2・3・4号人骨が収蔵されている。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人200円、小学生100円、小学生未満無料
【交】北九州市営バス「山鹿郵便局前」下車徒歩10分
【駐】8台 【所】遠賀郡芦屋町大字山鹿1200
【問】☎093-222-2555 **Map-33**

かんだまれきしりょうかん
苅田町歴史資料館いしづかやまこふんしゅつどさんかふぶしんじゅうきょうへん
「石塚山古墳出土三角縁神獣鏡片」

当館は国指定史跡石塚山古墳に隣接する歴史資料館で、昭和62年の調査で石塚山古墳から出土した鏡片、装飾品、鉄器、工器など(町考古資料)を展示している。この鏡片は寛政8年「南原石塚山」から発見された鏡数面(国考古資料/宇原神社蔵)のなかの2号鏡と呼ばれるものの一部。200年近い年月を経て新たにこの鏡片が見つかったことで、当時の記録の正確さが実証され、調査結果とともに石塚山古墳についての重要な情報を付加した。

【時】10:00～16:00
【休】月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
【料】無料 【駐】200台(役場と共用)
【交】JR苅田駅より徒歩15分
【所】京都郡苅田町富久町1-19-1
【問】☎093-434-1982 **Map-35**

おんがちようみんぞくしりょうかん さとない
遠賀町民俗資料館(ふれあいの里内)ふたくちつぽ
「双口壺」

慶ノ浦遺跡出土。弥生時代の集落の貯蔵穴から出土したもので口が二つある大型壺は他に例がなく、左右対称に描かれた貝殻文様から、製作技術と美意識の高さをうかがい知ることができる。装飾性の高さで稀少性から、農耕に関する祭事の器として使用されたものと考えられる。

【時】10:00～16:00 【休】月曜日、年末年始
【料】無料 【駐】15台
【交】JR遠賀川駅より遠賀町コミュニティバス中生津線「ふれあいの里」下車徒歩1分
【所】遠賀郡遠賀町浅木2-31-1
【問】☎093-293-1234 **Map-34**

こうげまれきしりょうかん
上毛町歴史民俗資料館いたおい
「板笈」県指定有形民俗文化財

笈とは修験者たちが文具や生活用品を入れて持ち運ぶために使用したもので、板笈と箱笈の二種類がある。修験道場である松尾山の板笈は儀式用として奉納されたもので二架が伝わっているが、二架とも裏面に「三面ノ内」との墨書(ぼくしよ)がみられることから、本来は三架奉納されたと考えられている。杵木は黒漆塗りで、金具には小倉藩領主小笠原家の三蓼菱紋が刻まれている。

【時】9:00～16:00 【休】毎月第2・4日曜日以外
【料】無料 【駐】20台
【交】JR中津駅より車で15分
【所】築上郡上毛町大字安雲840
【問】☎0979-72-2111 **Map-36**

なかましれきしりょうかん
中間市歴史民俗資料館のぼ たていせき しゅつど てっか かいわ
「上り立遺跡から出土した鉄戈と貝輪」

上り立遺跡は丘陵上に営まれた弥生時代の墳墓群。石棺墓や壺棺墓が11基検出されている。なかでも第2号石棺墓からは約40cmの長さの鉄戈とゴホウラ製の貝輪8点が副葬品として見つかった。

【時】9:30～18:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】50台
【交】JR筑前垣生駅より徒歩3分
【所】中間市垣生660-1
【問】☎093-245-4665 **Map-37**

みずまきまれきしりょうかん
水巻町歴史資料館

写真提供水巻町教育委員会

おんががわしきどきつぽ
「遠賀川式土器壺」
水巻町指定有形文化財

水巻町の遠賀川にある立屋敷遺跡で見つかった「遠賀川式土器」と言われる弥生時代前期後半の壺。この土器と同じような形や文様を持ったものが日本各地の米作りが始まるころの遺跡から見つかっており、弥生時代やその文化を研究するきっかけとなった。

【時】10:00～18:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月末日(土・日・月祝の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間
【料】無料 【駐】45台(障害者用2台を含む)
【交】JR水巻駅より北九州市営バス「水巻総合運動公園前」下車徒歩1分
【所】遠賀郡水巻町古賀3-18-1
【問】☎093-201-0999 **Map-39**

ふなさこがまあとこうえんたいげんがくしゅうかん
船迫窯跡公園体験学習館

6～8世紀の窯跡群と工房跡

国指定史跡船迫窯跡公園内にある体験学習館内には、同窯跡で出土した豊前国分寺瓦や上坂廃寺(みやこ町)の丸瓦などが展示されている。また、町内の発掘調査で見つかった資料のうち、主要なものが多数展示されており、特に県内有数の木製品が出土した宇留津川角遺跡(うるづこうずみいせき)で見つかった高床式倉庫の「ネズミがえし」や「扉」(古墳時代)は圧巻。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】50台
【交】JR築城駅より車で10分
【所】築上郡築上町大字船迫1342-22
【問】☎0930-52-3771 **Map-38**

ゆくはしれきしりょうかん
行橋市歴史資料館よこはぎいたびょうどめ まきしつぎかぶと
「横矧板鋺留 眉庇付冑」

市内の稲童21号墳から出土した眉庇付冑の完形品で、鉢の頂部に金銅製の装飾具がついている。国内で唯一のもの。その他、館内には市内文化財についてのビデオシアターなどもある。

【時】10:00～18:00
【休】火曜日(祝日の場合は翌日)、8月15日、年末年始
【料】無料 【駐】80台
【交】JR行橋駅より太陽交通バス「市役所前」下車徒歩3分
【所】行橋市中央1-9-3
【問】☎0930-25-3133 **Map-40**



く る め は ん だ い だ い は ん し ゅ あ り ま よ り し げ
「久留米藩第11代藩主有馬頼咸
練革黒漆白糸威五枚胴具足」

久留米藩最後の藩主頼咸の甲冑。胴や袖の裾に貼られている白い毛は山羊の毛で大変珍しく、漆や飾金物の黒色と威糸、毛の白色の対比が美しい。

【時】10:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】火曜日、年末年始、展示替えの期間
【料】大人200円、小中学生100円、小学生未満無料
【駐】10台 【交】JR久留米駅より徒歩10分
【所】久留米市篠山町444 【問】☎0942-39-8485



きんせいすいしよくつきみかざり
「金製垂飾付耳飾」

古墳時代後期、北部九州で強大な権力を持っていた筑紫君磐井(つくしのきみいらい)。磐井一族の古墳の周りには埴輪ではなく、地元の石で作られ、九州の古墳文化を代表する「石人・石馬」が立て並べられた。また市内の立山山8号墳から出土した金製垂飾付耳飾は、筑紫君一族と朝鮮半島との密接な関係をうかがわせる貴重なもの。これら八女古墳群からの出土品は岩戸山歴史資料館で実物展示している。

【時】9:00～17:00 【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】一般130円、小中学生70円 【駐】10台
【交】西鉄久留米駅より八女(福島)行バス、「福島高校前」下車徒歩15分
【所】八女市吉田1396-1
【問】☎0943-22-6111

こんどうそうまびざしつてつかぶと
「金銅装眉庇付鉄冑」 国指定重要文化財



吉井町は装飾古墳の多いところで知られているが、装飾古墳の他に月岡古墳や塚堂古墳の出土品、その他町内の考古資料も多く展示している。特別展示室では、国の重要文化財に指定されている月岡古墳の出土品を展示している。この副葬品は中央政権との密接なつながりを示している。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】100台 【交】JR筑後吉井駅より徒歩15分
【所】うきは市吉井町983-1 【問】☎0943-75-3120



かいがたげんじうた
「貝型源氏歌カルタ」

日本古来の貝覆いと、ポルトガル伝来のカルタを融合させて作られていく過程の中のかたちの一つ。源氏物語に詠われた和歌が書かれている。当館のみが所蔵する大変貴重な逸品。

【時】10:00～17:00
【休】月曜日、毎月最終木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】30台
【交】JR大牟田駅、西鉄大牟田駅より徒歩約10分
【所】大牟田市宝坂町2-2-3 【問】☎0944-53-8780

つこしょうがけこぶんしゅつど とりがたせいひん
「津古生掛古墳出土 鶏型土製品」



小都市内では最も古い前方後円墳である津古生掛古墳から出土した鶏型土製品は、ときかやくちばしまで本物のニワトリそっくりに作られている。これは古墳で行われた祭祀に使用されたと考えられている。夜明けを告げる鳥である鶏は、古墳時代の人々にとっても聖なる鳥だったのかもしれない。

【時】9:00～16:30 【休】毎月第3日・月曜日、年末年始
【料】無料 【駐】20台
【交】西鉄三国が丘駅より徒歩7分
【所】小都市三沢5147-3 【問】☎0942-75-7555

細部の意匠に優れた九州でも特に重要な民家 国指定重要文化財



江戸時代後期の大庄屋である吉原家の住宅は、細部の建築技法に意匠を凝らした大規模な入母屋造りの民家である。敷地内には明治期の土蔵が2棟あり、うち1棟を資料館として開放し、吉原家所蔵品(江戸後期～明治期の家具・家財が主)を展示している。

【時】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】10台
【交】西鉄柳川駅より西鉄バス「佐賀駅BC」行、「中原高木病院前」下車徒歩10分
【所】大川市大字小保136-17 【問】☎0944-86-8333

ちくごしきょうどしりょうかん
筑後市郷土資料館

Map-47

かっせききょう
「滑石経」県指定有形文化財



江戸時代、若菜八幡宮で出土したといわれる滑石経は「王平3年」(仁平3年の誤りか?)の銘がある甕に入れられ、瓦の形をした石に法華経を刻み、タマネギ状に組み合わせていた。現在その大部分は散逸し、一部(3点)のみ本館に展示されている。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 【料】無料
【駐】近接の水田コミュニティーセンター利用
【交】JR羽犬塚駅より徒歩25分
【所】筑後市大字水田17-2
【問】☎0942-53-8246

いづかしれきしりょうかん
飯塚市歴史資料館

Map-50

たていわいせきほったかめかんぐんしゅつどひん
「立岩遺跡堀田甕棺群出土品」国指定重要文化財



弥生文化を代表する飯塚市立岩遺跡の堀田甕棺群から発見された前漢鏡10面をはじめ、貝の腕輪や鉄製の武器などを一括して展示している。

【時】9:30～17:00
【休】火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人220円、高校生110円、小中学生50円
【駐】40台
【交】JR新飯塚駅より徒歩5分
【所】飯塚市柏の森959-1
【問】☎0948-25-2930

ひろかわまちこふんこうえんしりょうかん
広川町古墳公園資料館

Map-48

ぎんそうがんとつかがしら
「銀象嵌柄頭」



広川町で調査された鬼塚2号墳出土の銀象嵌柄頭2点。古墳時代後期の鉄製大刀柄頭として九州でも数少ない貴重な一品。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】10台
【交】JR西牟田駅より車で5分
【所】八女郡広川町一条1436-2
【問】☎0942-54-1305

いとだまれきしりょうかん
糸田町歴史資料館

Map-51

珍しい史跡も多数



糸田町内から出土した遺物や町内から集められた民具等を展示。特に、古賀ノ峯遺跡から出土した銅戈(町指定)や、ナウマン象の臼歯化石(写真)などは面白い。

【時】10:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料
【駐】21台
【交】平成筑豊鉄道糸田駅より徒歩10分
【所】田川郡糸田町2023-1
【問】☎0947-26-0038

やながわしりつ れきしんぞくしりょうかん
柳川市立歴史民俗資料館

Map-49

きたはらはくしゅう じひつげんこう
「北原白秋の自筆原稿」



柳川市出身の国民的詩人北原白秋(1885～1942)が遺した詩歌の原稿や草稿、今も歌い継がれる校歌の楽譜などを収蔵・展示している。筑後平野の水と人とか織りなす柳川の水郷景観を母体とした白秋詩歌の世界を物語る重要な資料。

【時】9:00～17:00 【休】年末年始
【料】大人400円、高大生350円、小中学生150円
【駐】なし※隣接の市営駐車場利用(40台・300円/日)
【交】西鉄バス「稲荷町」下車徒歩5分
【所】柳川市矢留本町40-11 【問】☎0944-73-8940

おうづかそうしよくこふんかん
王塚装飾古墳館

Map-52

くつわ かがみいた
「轡(鏡板)」



通常公開されていない国特別史跡「王塚古墳」の石室と出土品の一部を実物大のレプリカや、全国の著名な装飾古墳9基の1/5模型を常時展示している。実物の王塚古墳は年に二度、4月と10月に公開され、出土品は通常京都国立博物館で保管しており、各地の展覧会で見ることができる。

【時】9:00～16:30 【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人310円、中高生150円、小学生100円、土曜日は高校生以下無料
【駐】バス6台、障害者用2台、普通車50台
【交】JR桂川駅より徒歩10分
【所】嘉穂郡桂川町大字寿命376 【問】☎0948-65-2900



かましうすいきょうどかんしゅうぞう うちかけ
「嘉麻市碓井郷土館収蔵の打掛」
さらやしきでんせつ
(皿屋敷伝説)

碓井郷土館のある上臼井地区には怪談としても有名な「皿屋敷伝説」が残っている。本品は井戸に身を投げたお菊が着ていた打掛といわれている。当館より徒歩5分のところにはお菊が身を投げたと伝えられる井戸跡やお菊を祀ったお堂「お菊大明神」もあり、合わせて見学できる。
※打掛の実物は公開しておりません。

【時】9:30～17:30 【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】約20台 【交】JR桂川駅より西鉄バス、「嘉麻市役所」下車
【所】嘉麻市上臼井767 【問】☎0948-62-5173



ちようせいぎしめいないこうかもんきよう
「長生宜子銘内行花文鏡」

三面の青銅鏡。宮原遺跡(2世紀後半ごろ)の朱で塗られた石棺の中に出土した青銅鏡は、手に持つとずしりとした重量感と気品を漂わせている。このうち、二面の内行花文鏡は、後漢時代に制作された中国鏡で、高い評価がされている。大型のものは漆黒で光沢もあり、優品。

【時】9:00～18:00
【休】月曜日、毎月最終水曜日、年末年始
【料】無料 【駐】100台 【交】JR香春駅より徒歩3分
【所】田川郡香春町大字高野987-1
【問】☎0947-32-8410



こふんじだい ぎんせいてんかん
「古墳時代の銀製天冠」

6～7世紀に造られた銀冠塚古墳より出土したもの。厚さ1mmの銀製で、幅約2cm、長さ約28cmの透彫結文の帯状の冠台部の中央に、宝珠と花文が施され、内部に忍冬唐草文の透彫がある二等辺三角形の前立が蠟付けされている。九州では唯一の出土で、銀冠はこれ以外に全国で3例出土。

【時】9:00～17:00
【休】月曜日、第3日曜日、祝日、年末年始
【料】無料 【駐】50台 【交】JR鞍手駅より徒歩15分
【所】鞍手郡鞍手町大字小牧2097
【問】☎0949-42-3200

きゅうみついたがわこうぎょうしよいた たてこうやぐら にほんえんとつ
「旧三井田川鉱業所伊田竪坑櫓と二本煙突」



博物館がある公園内に当時のまま保存されている竪坑櫓と二本煙突は、筑豊炭田を象徴する近代化遺産。

【時】9:30～17:30(入館は17:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人210円、高校生100円、小中学生50円
【駐】20台(臨時駐車場あり)
【交】JR・平成筑豊鉄道田川伊田駅より徒歩10分
【所】田川市大字伊田2734-1
【問】☎0947-44-5745

英彦山の歴史を学ぶ



英彦山は古来より日本三大修験の霊山として信仰を集めてきた。保管されてきた文物、遺跡から出土した遺物を通して、「英彦山信仰」の歴史を学べる場所だ。

【時】10:00～17:00
【休】不定期(1、2月は冬期休館)
【料】大人210円、小人100円
【駐】なし
【交】JR彦山駅より添田交通バス「英彦山神宮下」すぐ
【所】田川郡添田町大字英彦山665-1
【問】☎0947-85-0378

筑豊の炭鉱産業を知る



筑豊炭田最後の炭鉱として約1世紀にわたって操業された貝島炭礦の歴史を展示する記念館。館内には貝島炭礦で使用された機械や工具、写真などが展示されており、1貝島炭礦の創業から閉山まで、2特筆すべき私学の記録、3貝島を支えた労働者の記録、を柱として構成されている。

【時】9:00～17:00(木曜のみ9:00～正午)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、木曜日午後、年末年始、祝日
【料】無料 【駐】50台
【交】JR直方駅から西鉄バス宮若市役所行き「石炭記念館前」下車徒歩2分
【所】宮若市上大隈573 【問】☎0949-32-0404

やまもとさくべえ
山本作兵衛コレクション ユネスコ世界記憶遺産

Map-59



© Yamamoto Family

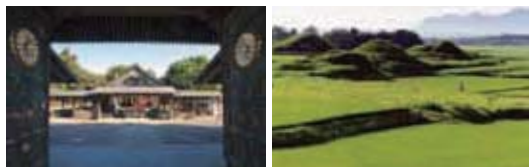
筑豊炭田で、実際の炭坑労働者であった山本作兵衛氏が残した記録画・日記等。田川市と福岡県立大学が所蔵・保管している697点が、国内で初めてユネスコ世界記憶遺産に登録された。

【時】9:30～17:30(入館は17:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人210円、高大生100円、小中学生50円
【駐】20台(臨時駐車場あり)
【交】JR・平成筑豊鉄道田川伊田駅より徒歩10分
【所】田川市大字伊田2734-1
【問】田川市石炭・歴史博物館 ☎0947-44-5745

ユネスコ世界遺産暫定については、世界遺産への本登録に向けて活動しています。これからも皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

むなかた おきのしま かんれんいさんぐん
宗像・沖ノ島と関連遺産群 ユネスコ世界遺産暫定

Map-60



「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、4世紀後半から9世紀末にかけて、対外交渉の成就と航海の安全を願って国家的祭祀が行われた沖ノ島、その信仰を現代まで継承する宗像大社、そして祭祀を司った古代宗像氏の古墳群などで構成されており、平成21年にユネスコの世界遺産暫定リストに記載された。

【問】福岡県企画・地域振興部 総合政策課
世界遺産登録推進室 ☎092-643-3162

←沖ノ島(上写真)と、左から辺津宮、新原・奴山古墳群

きゅうしゅう やまぐち きんだいかさんぎょういさんぐん
九州・山口の近代化産業遺産群 ユネスコ世界遺産暫定



旧集成館機械工場(鹿児島県鹿児島市) 三池港(福岡県大牟田市)

我が国の近代化は、幕末における西洋技術の導入以来、非西洋地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げた。その飛躍的な発展の大きな原動力となったのが、アジア大陸に近いという地理的特性により、古くから発展してきた九州・山口だ。九州・山口を中心とする近代化産業遺産群は、そのことを示す貴重な遺産群であり、構成資産は8県12市にわたっている。

【問】九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進協議会事務局(鹿児島県企画部世界文化遺産課) ☎099-286-2363

あまぎれきしりょうかん
甘木歴史資料館



こうらいしょう
「高麗鐘」

高麗鐘は昭和63(1988)年、朝倉市秋月中学校の改築工事の際に土中から偶然発見されたもの。高麗鐘(通称 朝鮮鐘)は、11世紀前半頃に朝鮮半島で製作され、日本に搬入されたものと考えられている。胴部中央には、「筑前國下座郡...永和三年」の銘文が刻まれており、14世紀頃に朝倉地方に伝えられたことが分かる。

【時】9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料 【駐】10台
【交】西鉄甘木駅より徒歩約15分
【所】朝倉市甘木216-2
【問】☎0946-22-7515

Map-61

くぼてしりょうかん
求菩提資料館



きょうづつ
「経筒」
国指定重要文化財

重要文化財である経塚出土品をはじめ、山岳修験道の資料を多数展示している。なかでも経筒は、中に経典を入れたいわば「タイムカプセル」であり平安末期のもの。銅製のものと陶製のものが発見されたが、銅製経筒14口中8口に銘があり、保延6(1140)年から久安6(1150)年の間に埋納されたことがわかる。

【時】9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料
【駐】3台(資料館から徒歩5分のところに大駐車場あり)
【交】JR宇島駅より求菩提資料館行きバスで約40分
【所】豊前市大字鳥井畑247
【問】☎0979-88-3203

Map-63

きゅうしゅうれきしりょうかん
九州歴史資料館

おにがわら
「鬼瓦」



九州歴史資料館所蔵

旧石器時代から近代に至る福岡県の歴史をたどることができる。古代に九州全域を統括していた大宰府政庁の甕を飾った鬼瓦は、立体感あふれた真に迫る怒りの表情から古代鬼瓦の最高傑作といわれている。また、平安時代初期の千手観音立像(若杉霊峰会所蔵)をはじめ、仏教美術の優品をゆつくりと鑑賞することができる。

【時】9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】大人200円、高大生150円(第1・3展示室のみ)、満65歳以上・中学生以下・障害者(同伴介護者1名)無料※土曜日は高校生も無料
【駐】58台
【交】西鉄三国が丘駅より徒歩約10分
【所】小郡市三沢5208-3
【問】☎0942-75-9575

Map-62

やながわこもんじょかん
柳川古文書館



たちばなけもんじょ べっきどうせつゆづりじょうつし
「立花家文書・戸次道雪議状写」
国指定重要文化財

国指定重要文化財として、大友文書、鷹尾神社大宮司家文書、立花家文書を収蔵。その他、旧柳川藩域の古文書約10万点を収蔵。写真は、「立花家文書」のうちの1点で天正3(1575)年、立花家の祖戸次道雪が娘間千代に、立花城と諸道具などの一切を譲る内容となっている。

【時】9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料
【駐】9台
【交】西鉄柳川駅より徒歩10分
【所】柳川市隅町71-2
【問】☎0944-72-1037

Map-64

観光ボランティアガイド一覧

地域の歴史、観光などを案内している団体です

観光ボランティアガイドと一緒に、福岡のまちを散策してみませんか？史跡や名所などを巡りながら、地域の魅力を再発見！歴史と文化に溢れるまちを「おもてなしの心」を持ってご案内します。※時間や料金、コースなど詳細は事前にお問い合わせください。

福岡地区	NPO法人 歩かんね太宰府	NPO法人 歩かんね太宰府 (NPO・ボランティア支援センター内)	080-6446-3905
	糸島ふるさとガイド	糸島ふるさとガイド (吉丸克彦 方)	092-321-0604
	(財) 古都大宰府保存協会 大宰府史跡解説員	(財) 古都大宰府保存協会 (大宰府展示館内)	092-922-7811
	太宰府天満宮ガイドサービスの会	太宰府天満宮	092-922-8225
	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会 (西村誠 方)	092-882-5853
	福岡市観光案内ボランティア協会	福岡市観光案内ボランティア協会	092-283-2111
	福岡歴史探訪ガイド	福岡歴史探訪ガイド(井上光枝 方)	092-771-6773
	福津市観光協会 観光ボランティア	福津市観光協会	0940-42-9988
北九州地区	宗像歴史観光ボランティアの会	宗像観光情報コーナー (道の駅むなかた内)	0940-62-3811
	北九州市観光案内ボランティア	北九州市観光情報コーナー	093-541-4189
	豊前市史跡ガイドボランティアの会	豊前市史跡ガイドボランティアの会 (求菩提資料館内)	0979-88-3203
	秋月学校ガイドボランティアの会	秋月学校ガイドボランティアの会 (秋月公民館内)	0946-25-0458
	朝倉地域観光案内ボランティアの会	朝倉市観光協会	0946-24-6758
	大川市観光ボランティアの会	大川市観光情報センター	0944-87-0923
	大牟田観光ボランティアガイド	大牟田観光協会	0944-52-2212
	久留米市観光ボランティアガイドの会	(財) 久留米観光コンベンション 国際交流協会	0942-31-1717
筑後地区	筑後よしき案内人	うきは市観光協会	0943-76-3980
	星野村観光ボランティアガイド	星野村観光協会 ((財) 星のふるさと内)	0943-31-5588
	柳川観光ボランティアガイド	柳川市観光課	0944-77-8563 (平日のみ)
	八女市観光ボランティア	八女市観光協会 (八女伝統工芸館内)	0943-22-6644
	八女福島町並ガイドの会	八女福島町並ガイドの会 (八女市横町町家交流館内)	0943-23-4311
	添田町観光ガイドボランティア	添田町商工観光係	0947-82-1236 (平日のみ)
	筑豊飯塚観光案内人	飯塚観光協会	0948-22-3511
	歴史ボランティア・直方を語る会「とおれんじ」	歴史ボランティア・直方を語る会 「とおれんじ」(増井幸恵 方)	0949-26-0034
筑豊地区			



文化観光情報ひろば

アクロス福岡2階の「文化観光情報ひろば」では、九州・山口の芸術文化や観光に関する情報をチラシやパンフレット等で提供しています。また、作品展や講座などのイベントも開催しています。文化と観光の交流拠点としてご利用ください。

アクロス福岡2階(福岡市中央区天神1-1-1) 開館時間/10:00~18:00
休館日/年末年始 TEL 092-725-9100 FAX 092-725-9102
e-mail jyouhou@acros.or.jp http://www.acros.or.jp/

お問い合わせ